

中村地区自治会長と中井町議会意見交換会会議録(まとめ)

◇日時: 2024年8月2日 18時～20時

◇場所: 中井町農村改善センター 2F研修室

◇自治会出席者:14名

松本下(小澤久雄様)、岩倉(大川純司様)、雑色(原田好久様)、鴨沢(野地良広様)、古怒田(早野一郎様)、半分形(曾我芳則様)、大久保(武井智様)、遠藤(森眞一様)、五所宮(曾我裕之様)、北田(榎本俊昭様)、久所(成川保美様)、境原(相原隆様)、本境(相原浩之様)、境別所(小泉久夫様) ※比奈窪、松本上、藤沢は欠席

◇議会出席者:12名

森丈嘉、石渡正次、岸光男、井上泰弘、尾尻孝和、加藤久美、古宮祐二、多田勲、相原晃一、関野達夫、武井一紀、曾我尚人

1. テーマ:地域活性化について

	発言 自治会	意見・要望内容
1	本境	・境地区は若い人が町を出ている。 ・地域の行事ができない。 ・若い人を呼び戻すには調整区域が多く、住む場所もない。 ・交通不便で若い人が住みにくい。 ・地域の活性化を図ることを考えたいが難しい。
2	境別所	・叔母の家が空き家で、相続人が50人以上いる。老朽化も激しい。 ・中井町を都市計画区域外(白地)にしたら、土地利用がしやすくなるのでは。 ・オンデマンドバスがあるが、高齢者には予約手続きが面倒である。 買い物も不便なので、移動販売はできないか。 ・宅配補助(社協で実施)もあるが、買い物代行は社協で実施しているか。 ・オンデマンドバスがよく総合グランド、五所八幡宮前、中央公園に停まっているが無駄と思われる。2台運行している1台を循環型にできないか。
3	鴨沢	・中村上は自治会員が少ないうえ、高齢単身世帯も多くイベントを設定しても集まらない。 ・3月頃に平塚から移住してきた人がいる。(空き家バンクを利用したのか不明) 空き家を利用しやすい取組を進めてもらいたい。
4	松本下	・町独自で家が建てられるよう規制緩和を県と協議し、消滅可能性自治体から脱却させる。 ・空き家の活用を土地所有者に働きかけて、住宅地を確保する。 ・県に市街化区域を増やすことを訴えたらどうか。 ・現在、子ども・高齢者は、税金投入され手厚い補助がある。 ・オンデマンドバスはまず利用することが大事である。 ライドシェア規制を取り払い、町独自で運行させたらどうか。その場合、責任は町でとる。
5	遠藤	・お祭りの分担金が多く困っている。200万の年間支出の半分ほどが分担金として支払うことになることから補助の増加を町へ要望したが聞き入れられなかった。五所八幡宮は一方的に収めるお金を要求し、年々高くなっている。また、会員が減ると自治会助成金も減ることになり方向が悪い。 ・自治会に入っていて良いことを増やすにはどの様にすべきなのか。 ・コメリの前の歩道に防犯灯、街路灯が欲しい。

6	大久保	・お祭りの分担金の割合が多く、自治会会員からも同様な意見を聞いている。町からは分担金に助成があるが、五所八幡宮へ行ってしまいうので自治会のためにはならない。自治会全体の大きな問題として特段出てないが、山車も含め、お宮に関わるお金の負担は問題となっている。 ・半分形、大久保は自治会館などの土地の地代負担があり、毎年相当な金額を支払っている。
7	半分形	・お宮分担金は他自治会と同じ状況で、自治会運営に影響がある。 ・自治会員と入会していない住民のメリット、デメリットをしっかりと示したいが、どう考えても今の状態では会員の方がデメリットが多い。社協の協力金や赤い羽根など、会員だけに集金が及ぶことになる。町も自治会に入りましようと言いながら、ホームページやチラシでPRしているだけだ。会員が納得するメリットが欲しい、不公平感を感じる。会員は子育てが終わると抜ける傾向がある。負担を減らす工夫が必要だ。
8	北田	・お祭り経費がかかりすぎる、これをどうにかしたい。自治会費が高いので自治会に入らない。個人の支出が多く、そこをどうにかして欲しい。今以上の補助を求めても町からの回答はNOである。 ・外国人住民が増えて、言葉が通じないことからゴミ出しも含め、多々問題もある。これから自治会のあり方がどうあるべきか検討しなければならない。 ・子ども会も無くなり、組ごと自治会を抜けたらということもある。
9	古怒田	・災害時の避難場所は中村小学校になっている。古怒田からは距離があるために実際、避難所の利用とはならないと思われる。そのため自治会館などが避難所となることが予想され、自治会館に発電機、蓄電器などを設置してほしい。(発電機は老朽化で使用不可)高齢者の避難を考えてもらいたい。備蓄食料なども含め充実させたい。 ・お宮負担金はとても大きな負担。自治会費は12,000円となった。
10	久所	・お宮の負担については他自治会と同じ様な状況、更に使役を出さなければならない。 ・自治会に入るというのは助け合いなのに、皆に迷惑がかかるからと、自治会を抜ける理由になってしまった。町も自治会の会員を増やす協力をしてほしい。 ・避難場所の再検討、資材配給についてのチェック更新などが必要。防災リーダー(防災専門官)プロの目から見て防災備蓄品などをチェックしてもらいたい。危機管理専門員にお願いしたり、OB含め消防関係の仕事に就いている人などに災害時の備えをアドバイスしてもらいたい。